



新入生と来賓との記念写真

2023-2024 学年度日越大学入学式を開催。修士学生、学部学生、約 300 名が入学

2023 年 10 月 6 日、ベトナム国家大学ハノイ校グエンヴァンダオホールにて、日越大学の 2023-24 学年度入学式が開催されました。約 300 名の新入生が参加し、山田滝雄駐ベトナム日本国特命全権大使や武部勤日越友好議員連盟特別顧問など多くの来賓が出席しました。

古田学長は祝辞の中で教育理念であるリベラルアーツの重要性を強調し、日越大学では学生一人ひとりの個性を尊重する教育を行い、社会的変化に対処するスキルも重視していること、また日越大学では、多様かつ多文化の中で協働する能力や総合的な人間力の育成にも力を注いでいることについて新入生に伝えられました。新入生たちは、日越大学での学びを通じて、知識やスキルを習得し、自己成長を遂げることが期待されています。日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトでは、教育・研究の充実を図りながら、学生たちが豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献することができるよう支援していきます。

当日の様子ははこちらから：<https://www.facebook.com/vnu.vju/videos/1018540605864660/>



古田学長による新学年開始の太鼓打ち



在学生による新入生歓迎の舞

今月号の内容

2023-24 学年度日越大学入学式を開催

日越友好関係樹立 50 周年を記念し「日越大学ジャパンフェスティバル」を開催

日越大学第二期理事会・第 3 回会議を開催

桜美林大学による「さくらサイエンスプログラム」に参加

日本とベトナムの新たな架け橋：国費外国人留学「日本語・日本文化研修留学生」～日越大学からの第 1 号生としての挑戦

ホアラック(QGHN-04)新キャンパスでの授業及び業務が開始

日越大学からのお知らせ

日越友好関係樹立 50 周年を記念し「日越大学ジャパンフェスティバル」を開催

2023 年 9 月 30 日、日越大学は、ベトナム国家大学ハノイ校ホアラックキャンパスで日越友好関係樹立 50 周年を記念し、「日越大学ジャパンフェスティバル」を開催しました。イベントには双日国際交流財団やフー・タイホールディンググループをはじめとする多くの団体、企業からご支援を頂きました。本イベントでは、古田学長、木ノ下忠宏双日ベトナム社長、ヴォー・ホン・フック元計画投資大臣によるスペシャルトークショーが開催されました。トークショーは「日越経済協力」をテーマに行われ、日越双方の立場からみた両国の経済協力の歴史に触れる貴重な機会となりました。日本語プレゼンテーションコンテストでは、「日越友好関係樹立 50 周年に寄せて思うこと一日越大学の学生として日本とベトナムの懸け橋になるには」をテーマに、3 組の学生グループが発表を行いました。学部日本学プログラム（BJS）4 年生からなるチーム「Stay Gold」が、「今までの日越関係は国と国、会社と会社といった関係であったが、これからは個人と個人が関係構築する時代となる。日本とベトナムの人々が個人レベルでつながれるモバイルアプリ「Hand to Hand」を構築し、日本とベトナムの間に新しい『架け橋』をかけたい」と発表し見事優勝しました。この他、メインステージでは盆踊りやコスプレショー、ハノイ発のアイドルグループ「Polaris with TAKEDA Band」や日本人女声コーラスグループ「Xuan Voce」のコンサートなども開催され、会場は大いに盛り上がりしました。

当日の様子はこちらから：<https://www.facebook.com/vnu.vju/videos/731744978774016/>



BJS プログラム学生による総司会



日本語プレゼンテーションコンテスト表彰式



学生によるステージパフォーマンス

日越大学第二期理事会・第 3 回会議を開催

10 月 5 日、ハノイ国家大学ホアラックキャンパス本部棟会議室にて、日越大学第二期理事会・第 3 回会議を実施しました。会場には、古田元夫学長、グエン・ホアン・オアイン副学長、福士謙介副学長、また日越大学理事として、武部勤日越友好議員連盟特別顧問、山田滝雄駐ベトナム日本国特命全権大使、相澤益男公益社団法人科学技術国際交流センター会長、グエン・ヒュウ ハノイ国家大学副総長等が出席しました。理事会では、日越大学の活動状況の報告と発展戦略等について議論され、今後の活動について理事会で満場一致で承認を得ました。



会場とオンラインのハイブリッドでの理事会開催

桜美林大学による「さくらサイエンスプログラム」*に参加。福島県を訪問

2023年10月1日から7日、学部スマート農業とサステナビリティプログラムおよびコンピュータサイエンスプログラムの学生4名と教員1名が桜美林大学によるさくらサイエンスプログラムに招へいされました。プログラムのテーマは「第6次産業と震災復興」。参加した学生は、福島県のなめがたしろはとファームで農業の第6次産業化（生産×加工×流通）における日本の優れた取り組みを学んだ他、東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問し、電子力災害の後世への伝え方について深く考える機会を持ちました。多くの気づきを胸に無事帰国した学生たちは、今回日本で学んだことをベトナムでも広めていきたいと意気込んでいます。

*「さくらサイエンスプログラム」は科学技術振興機構（JST）が実施しており、産学官の連携により、海外の優秀な若者を日本に招へいし日本の科学技術を体験する事業です。



プログラム責任者の池田聡准教授（桜美林大学）と参加者（日越大学およびラホール経営科学大学（パキスタン））

日越大学の教員、吉野家ファームを訪問

2023年10月19日、Dr. Hoang Thi Thu Duyen（開発促進・協力推進課副課長）、及びDr. Dang Minh Hieu（スマート農業とサステナビリティプログラム兼食品工学と健康のプログラム講師）は、福島県新白河の吉野家ファームを訪問しました。滝田国男氏（株式会社吉野家ファーム福島、専務取締役、農場長）との意見交換では、日本の農業に関するさまざまな課題や展望が議論されました。特に、次世代への伝統的な農業知識の継承の問題や、新興国での類似の課題への対応策などが取り上げられました。また、ビラッシャパン・スターラット氏（吉野家ホールディングズ、グループ管理本部、グローバル人材採用戦略室室長）および長広尚之氏（吉野家ホールディングズ、グループ管理本部、グローバル人材採用戦略室担当）との間でも、今後の協力体制やプログラムの連携についての詳細な議論が行われました。この訪問は、日越大学と吉野家ファームとの間の持続的な協力関係をさらに強化する大きな一歩となりました。両者の協力関係のさらなる深化が期待されています。



吉野屋ファーム見学



農場視察



Focus

日本とベトナムの新たな架け橋：国費外国人留学“日本語・日本文化研修留学生”～日越大学からの第1号生としての挑戦～

今月号では、日越大学から初めての国費外国人留学生・日本語・日本文化研修留学生として、今秋から筑波大学での学修を開始した学部日本学プログラム（BJS）4年生の Vũ Nguyễn Quang Duy さんに日本での大学生生活、日本留学を決意したきっかけ、また今後の目標についてお聞きしました。



Wũ Nguyễn Quang Duy さん（BJS4 年生）

～筑波大学での大学生生活はいかがですか？

最初の気持ちは興奮とわずかな不安が入り混じっていました。筑波大学で新しい冒険が始まることにワクワクしていましたが、知り合いや友達がいらない“一人”で日本に来たので、少し心配していました。しかし教員、指導教官からの暖かい歓迎を受け、多くの新しい友人を作ることができたので、その心配はすぐに消えました。また日越大学での日本語と日本に関する学びは、日本に対する包括的な視点を得るのに役立ちました。ここに来てからは大きなカルチャーショックは感じていません。

～日本留学を決意したきっかけは何ですか？

私は高校生の時から日本語を学び始め、6年間日本語を学んでいます。私の高校では日本語が必修科目だったこともあり、日本語の先生が日本への留学の魅力を教えてくれました。このため高校生の時から日本語を学ぶことを熱心に取り組んできました。今年7月に早稲田大学の「さくらサイエンスプログラム」の招聘は、私の日本留学の決意をさらに強めました。

～留学中に達成したい目標、そして将来留学経験をどのように生かしていきたいですか？

まず、日本語の向上が最優先です。大学の授業や日常生活で日本語を使用することで、日本語が上達する機会はより多く得られると考えています。次に、日本の社会を研究することです。このプログラムを通じて日本で实际生活をしながら、研究課題を発展させることができると思います。最後に、留学生活の中での多様な体験をしてみたいと考えています。日本の国、文化、人々について、様々な経験を通して、理解することを心から望んでいます。筑波大学での学びを元に、将来の教育や研究に活かしていきたいと考えています。また、筑波大学は多国籍な環境が魅力的で、様々な文化との交流を通じて、より広い視野を持ち、異文化理解を深めたいと思っています。

～MEXT 奨学金を受け取った初の日越大学の学生として伝えたいことはありますか？

このプログラムのMEXT奨学金を受け取る初めての日越大学の学生になったことを非常に光栄に思っています。私は、プログラムを無事に修了するとともに、ベトナムと日本の間の文化的な架け橋となることを目指しています。



筑波大学キャンパス

ホアラク (QGHN-04) 新キャンパスでの授業及び業務が開始

2023年10月9日より、日越大学のメインキャンパスとしてハノイ国家大学ホアラク (QGHN-04) キャンパスでの授業及び業務が開始しました。ホアラクキャンパスはハノイ市内から西に約 30 キロに位置しており、広々とした敷地の中に教育設備が整っており、学生たちはより充実した環境で学ぶことができます。また、今までメインキャンパスとしていた、ミーディンキャンパスも引き続き日越大学のキャンパスとして活用していく予定です。



ホアラク (QGHN-04) キャンパス正門



キャンパス内



事務棟



一般教室

日越大学よりお知らせ

日越大学では、大学での活動にご支援いただける企業や団体を募集しています。寄付金、インターンシップでの受入れ等ご支援頂ければ幸いです。

ご興味をお持ちいただけましたら、下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ連絡先: rpcd@vju.ac.vn

日越大学一同、皆様からのご支援を心よりお待ちしております。

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

(ベトナム語) <https://www.facebook.com/vnu.vju/>

(日本語) <https://www.facebook.com/VJUjp/>

JICA プロジェクトページ

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部 (担当: 川口)

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト